

「言葉の力」

先日の早朝、初冬の抜けるような青空に誘われて散歩にでかけました。

おなか周りのお肉が気になる今日このごろ、少し汗ばむまで歩き続けていたら、思いがけず遠くまで足を延ばしていました。

高架下に差し掛かり、日陰で休憩しようかなと足を止めたわたしの目に飛び込んできたのは、壁一面にスプレー缶で黒々と書かれた『バカ』という文字。いったいだれが、いつ、だれに対して書いたのでしょうか。

ひまわり No. 381



～人権尊重をくらしのなかには～
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63-7909)へ

「声に出す言葉」と「書きしるす言葉(文字)」の違いはありますが、いずれの言葉もただの音や記号ではありません。思いや考え、気持ちを伝える大切な道具です。

感は一瞬で吹き飛び、わたしは足早にその場を離れました。家へ急ぐわたしの後ろを、あの文字が叫びながら追いかけてきているようで、何かしら恐ろしくて振り返ることができませんでした。

やっとの思いで家にとどり着いたわたしを迎えてくれた、夫の「おかえり」のひと言に心がほぐれ、思わず涙が出そうになりました。これまで、家族と口論した時など感情的になって「バカ!」と怒鳴ってしまうことがありました。

怒鳴ったわたしはしばらくすればそのことを忘れてしまいます。

けれども、この言葉をぶつけられた人はどうでしょうか。あの高架下でのわたしのように「文字の叫び」を感じてしまったのではないのでしょうか。そう考えると恐ろしくなりませんか。感情にまかせて言葉をぶつけてはいけないなど、改めて反省しました。



普段何気なく使う言葉が、人と人をつなげる人間関係を豊かにしてくれたり、逆に大切なつながりを断ち切ってしまったります。迷信ではない本当の意味での「言葉の力」の大きさを理解し、より良い人間関係が広がるよう、豊かな言葉を発していきたいと思えます。

森林の間伐を促進するため 「緊急間伐(モデル)実施林」を募集

対象森林 市内に所在し、間伐実施展示林として活用できるスギまたはヒノキの人工林。1ヵ所当たり概ね、0.1ヘクタール以上で次のいずれかに該当する森林

- ▼個人所有の森林
 - ▼共有林
 - ▼財産区有林
- ※この間伐作業は、森林所有者が伊賀地域の認定林業事業体に委託することが条件です。

選定方法 林木の生育や森林表土の状況などを総合的に評価し、予算(50万円)の範囲内で対象森林を選定します。

申込期限 平成24年1月20日 迄

◎申込方法など詳しくは、市役所4階農林振興室へ問い合わせください。

☎ 農林振興室 ☎ 63-7625

まちの話題



「地産地消 お正月料理講習会」 お正月料理は地元産野菜で!

「地産地消 お正月料理講習会」が、12月6日、名張公民館で開催され、30人が参加。里芋の粉ぶし煮など、地元産野菜をふんだんに使った正月向けの料理をつくりました。主催した名張市消費生活協議会の奥野幸代さんは、「野菜などは、値段よりも、新鮮で安全なものがよいという人が多くなっています。お正月にも、ぜひ、地元産のもの、旬のものを食卓に取り入れてほしいですね」と話していました。

「ふれ愛コンサート」が開催されました

第63回人権週間記念行事として、12月4日、アドバンスコープA D Sホールで、「ふれ愛コンサート」が開催されましたので、その内容の一部をご紹介します。

☎ 人権啓発室 ☎ 63-7909



第1部

第1部は、皆さんからご応募いただいた「人権」に関する作品(作文167点、ポスター173点、標語414点、写真20点)の中から、家庭や学校、社会生活での学習や体験を通じ、さまざまな人権問題を解決していこうとする意欲にあふれた作品が表彰され、小・中学校、高校から5人が作文を朗読発表しました。

第2部

第2部は、宮里新一さんによるTalk&Live「生き直しコンサート～ハンセン病からの解放～」でした。宮里さんは自らのハンセン病との闘いを歌と語りで会場の皆さんに伝えました。

「小学3年生のとき発病し母親に連れられて、国立療養所沖繩愛楽園へ入所。帰る母親のしよげた姿がまだに忘れられない。また、12歳のとき退所するときに入所者から『この病気のことはだれにも話してはならない。一生隠しなさい』と言われたことが心を縛り付けました。特に友達に『3年間どこに行ったの?』と聞かれたときはとても苦しかった」と話しました。

「ハンセン病患者のような人生被害を二度と起こしてはならない。そのためには、小さいころからハンセン病問題を知ってもらい風化させないようしなければなりません」と話し、会場の皆さんには、「偏見をなくして差別のない名張市になってほしい」と訴えました。



ロビーでは、パネル展「ハンセン病問題をともに考える社会に」が開催されました。